

プロジェクト紹介

「安全安心」研究開発領域 (MPI) → 研究開発成果実装支援プログラム【公募型】

津波災害総合シナリオ・シミュレータを活用した津波防災啓発活動の全国拠点整備

研究代表者：片田敏孝（群馬大学）

予想される津波の被害範囲や程度の変化を、発生時から順にアニメーションで見せる「動くハザードマップ」を開発、防災教育活動に活用。東日本大震災で大きな被害を受けた釜石市でも活用され、市内14校の小中学校生約3,000人のうち99.8%が生き延びた「釜石の奇跡」につながりました。



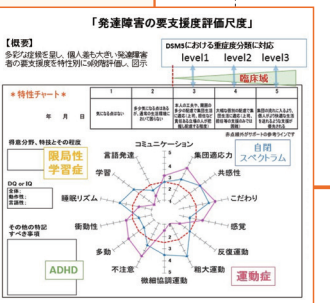
プロジェクト紹介

研究開発成果実装支援プログラム【公募型】

発達障害者の特性別評価法 (MSPA) の医療・教育・社会現場への普及と活用

研究代表者：船曳康子（京都大学）

発達障害者の要支援度を特性別に細かく評価し、一目でわかるレーダーチャートとして表示する評価尺度 (MSPA) を実用化。評価支援マニュアルの策定や評価者育成のための講習プログラムを開発。2016年に保険収載されました。



公募研究

RISTEX 調査・研究

プロジェクト紹介

「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」研究開発領域

養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築

研究代表者：友田明美（福井大学）

虐待だけでなく、大人から子どもに対する避けたいかわり「マルトリートメント（マルトリ）」の予防のため、全ての大人で子どもやその親、家族に寄り添う家族丸ごと支援「とも育て」を進めるための教材開発・普及事業。



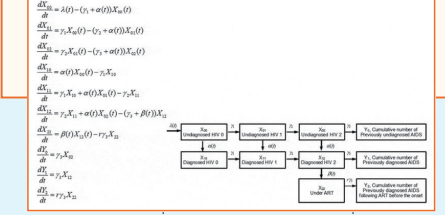
プロジェクト紹介

「科学技術イノベーション政策のための科学」研究開発プログラム

感染症対策における数理モデルを活用した政策形成プロセスの実現

研究代表者：西浦博（北海道大学）

数理モデルに基づいた客観的なエビデンスを感染症対策の立案に活用し、感染症の拡大を効果的に制御するため、「感染症がどのように伝播し、感染者がどの程度の期間で発病し重症化するか」を数式で記述した数理モデルを開発。国の予防接種プログラムの改訂など政策立案に貢献。



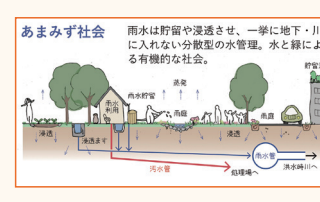
「あまみず社会」

「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域

分散型水管理を通じた、風かおり、緑かやく、あまみず社会の構築

研究代表者：島谷幸宏（九州大学）

集中型水管理システムの課題を解決するため、「あまみず社会」という都市ビジョンを提案、河川の流域での水の貯留・浸透を良質な緑を増やしながら多世代共創によって行う分散型の水管理システムの手法を開発。防災のほか、コミュニティの活性化などにも有効。JICAプロジェクトや世界銀行などと連携。



調査研究活動: ELSIの取り組み

調査研究活動: ELSIの取り組み

調査研究活動: 研究公正調査

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム

シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ

社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築